

調査結果速報

豊岡市コウトリ共生部 農業共済課
豊岡農業改良普及センター
たじま農業協同組合

◆ 調査結果(但東地域)

《 紋枯れ病・いもち病 》

| No. | 地区 | 調査ほ場 | 品種 | 田植え | 紋枯れ病発生程度 | 葉いもち病発生程度 | 穂いもち病発生程度 |
|-----|----|---------------|--------|------|----------|-----------|-----------|
| 33 | 畑 | ミノヤ 1007 | ゴシカリ | 5/15 | 少 | 少 | 無 |
| 34 | 河本 | センボンガキ 17-1 | ゴシカリ | 5/12 | 少 | 少 | 無 |
| 35 | 相田 | ウメガツホ 1015 | ゴシカリ | 5/20 | 少 | 無 | 無 |
| 36 | 久畑 | シモガワラ 933、934 | ゴシカリ | 5/10 | 少 | 少 | 無 |
| 37 | 三原 | サルユウ 662 | ゴシカリ | 5/11 | 無 | 無 | 無 |
| 38 | 坂野 | ナカミチ 1245 | ゴシカリ | 5/13 | 少 | 少 | 無 |
| 39 | 中藤 | ヤマゾエ 737 | マンゲツモチ | 5/19 | 無 | 無 | 無 |
| 40 | 日場 | ウマハラ 445 | ゴシカリ | 5/10 | 少 | 無 | 無 |

(※25株調査)

《 ウンカ類・カメムシ 》

| No. | 地区 | セジロウンカ発生程度 | トビイロウンカ発生程度 | カメムシ捕虫数(頭) | 備考 |
|-----|----|------------|-------------|------------|--------------------|
| 33 | 畑 | 少 | 無 | 3 | カメムシの要防除基準は0.75頭以上 |
| 34 | 河本 | 少 | 無 | 1 | |
| 35 | 相田 | 無 | 無 | 0 | |
| 36 | 久畑 | 無 | 無 | 0 | |
| 37 | 三原 | 無 | 無 | 0 | |
| 38 | 坂野 | 少 | 無 | 0 | |
| 39 | 中藤 | 少 | 無 | 0 | |
| 40 | 日場 | 少 | 無 | 0 | |

(※10回網振り)

◆ 生育状況

7月以降の日照不足により、生育に多少バラツキが見られますが、出穂時期は概ね平年並みとなっています。

◆ 病虫害発生状況と今後の管理について

☆ いもち病

葉いもち病の発生は、8ほ場中4ほ場で確認されました。今後の天候により、穂いもち病の発生も予測されるので、ほ場をよく観察しましょう。

☆ 紋枯れ病

紋枯れ病の発生は、8ほ場中6ほ場で確認されました。稲の茎の上部まで病斑が進展していないかよく観察しましょう。

☆ ウンカ類

ウンカの発生は少ない状況です。

☆ カメムシ類 <要防除水準:10回網振りで0.75頭以上>

今回の調査では、8ほ場中2ほ場でカメムシの発生が確認されました。必ず仕上げ防除を実施しましょう。畔草は、雑草に穂をつけないようこまめに草刈りを行いましょう。

☆ 水管理

出穂後の水管理は、土壌水分を保つ程度に飽水管理を行いましょう。早期落水は品質の低下や減収につながりますので、ほ場が乾燥するようであれば走り水をするなどして、品質の良い米づくりに取り組みましょう。

☆ 農薬を散布する場合、隣接する野菜ほ場などに飛散しないように注意しましょう。

◆ 参考 (一般栽培ほ場の場合)

| | | |
|---------------|-------------------------|------------|
| 出穂後 7~10日 | スタークル粒剤 又は スタークル粉剤DL | カメムシ類、ウンカ類 |
| 収穫14日前 までに | カサブサイト粉剤3DL | いもち病 |